

守る、をともに。

WITHSOL

株式会社ウィズソル

業務内容: 非破壊検査・熱処理工事・設備診断・技術者派遣

本社: 〒733-0035 広島県広島市西区南観音6丁目3番10号 TEL (082)291-2500 FAX (082)291-2515

所在地: 北海道・宮城・福島・茨城・千葉・神奈川・兵庫・大阪・愛媛・岡山・広島・山口・長崎・大分・鹿児島

<http://www.withsol.co.jp>

インタビュー

「株式会社ウィズソル」に社名変更！ お客様と共に課題を解決する姿勢鮮明に！ — 関西エックス線株式会社 —



代表取締役社長 中野 克己氏に聞く

関西エックス線株式会社(本社: 広島市西区南観音6丁目3番10号)は、4月1日付で社名を「株式会社ウィズソル」に変更すると発表した。新社名は、「WITH(ともに)」+「SOL(解決)」を意味し、「ブランド・ビジョン」である「守る、をともに」の歩みと今回の社名変更の

中野 1961年創業の当社が、地元・三菱重工業(株)広島造船所様の非破壊検査業務の施工から事業をスタートし、同長崎造船所で検査業務を請け負うなど、当初は造船所との関係構築で発展を遂げてきた。そして、1974年に岡山県の水島臨海コンビナートで発生した重油流出事故を契機に、石油プラントの検査業務を手付け始めた。1984年には本州四国連絡橋公団様の依頼を受け、本四橋溶接部の超音波自動探傷検査業務を開始。その後、石



また、日本の石油・化学プラントが高齢化し、設計段階で想定された箇所以外の老朽化も進み、既存の技術では対応できない事態が起り始めています。お客様に技術提案しながら、お客様に技術提案しながら、一緒に課題を解決していく企業ビジョンを打ち出す。社名変更を決定した次第である。これまで指示された検査項目に従って業務するに留まっていたが、構造物の老朽化が進み、現場の人手不足が深刻化する中、劣化の進捗状況に応じて最適な検査技術・余寿命診断等を顧客へ提案して

中野 就任時は当社にとって橋梁の溶接部自動超音波探傷試験の工事データ改善の問題が生じた直後だっただけに、組織変更や社員の研修教育の強化など、コンプライアンス行動基準の遵守に努めた事を思い出しています。現在も研修教育には非常に力を注いでおり、全社員に仕事に対する安全の使命感を根付かせている事を実感しています。

中野 タンク底板連続測定装置「UDシリーズ」と配管の超音波連続板厚測定装置「UDPシリーズ」に関して、まだまだ取扱の余地があるため積極的な提案を推進していくつもりだ。また、熱交換器・ボイラ等のチューブ内外面の減肉状況を検出する「水浸超音波肉厚測定装置」も開発しているが、今年中には第二のイメージング技術として実用を図って参りたい。

中野 現在、近隣に本社の新社屋の建設計画を進めており、今年末に着工し、来年末の竣工を予定している。

企業を目指していきたく、現状では高い目標である事は理解しているが、大きな夢を社員と共有する事でより高い壁を乗り越えられると確信している。ただし、安全安心な検査業務を第一に考え、社員に無理な仕事をさせるつもりはない。

中野 プラント埋設配管の健全性を検査する「ハイパワ」ガイド波を活用した埋設配管探傷技術もニーズが高くなり、実証試験を積み重ねている。この他、タンク側板の補修材の溶接近傍部の外観検査に最適な目視ロボット「IROBO」は、部品を改良し煙突等の目視検査にも適用できるよう開発を進めている。

中野 社員の教育方針は、中野 会社の方向性の統一化を図るべく、3月3日、本社に経営部門、技術部門の管理職を一堂に集めて中期経営計画等の方向性を伝える「経営会議」を実施した。午後からは分科会も行った。内容は各地域に伝達し、その内容を共有し、組織毎の目標を共有し、2階は本社事務所、3階は会議室を設置する計画だ。このように社名変更や本社の建替えを実施する事で、「ウィズソル」のブランドイメージの社内外への浸透を図り、技術提案型企業として新たな一歩を踏み出して参りたい。そして、新技術による新規需要の創出とコンプライアンス遵守を基軸にした事業経営に取り組み、更なる社業の発展に努めていく所存だ。ありがとうございます。